



## 21世紀の森と広場千駄堀池の外来生物調査結果および ガバメントクラウドファンディングを活用した「遊び空間」寄附募集と 市民向けパネル展示の開催

### 1. 21世紀の森と広場 千駄堀池外来生物調査

21世紀の森と広場（以下、「本公園」という）における千駄堀池（調整池の機能を有した修景施設で面積約5ha）の外来種対策を今後実施するために本格的な生物調査を平成5年の開園以来で初めて行いました。さらに、今回の結果を広く周知することで本公園の自然環境について関心を深めていただくことを期待しております。

#### （1）排水作業

河川管理者や警察・消防など関係機関との協議や流域の町会への説明を行ったうえで、ポンプによる排水を令和2年7月13日（月）から19日まで7日間実施しました。排水中は下流の水路における水位などを観測しましたが問題はありませんでした。

#### （2）魚類等生物捕獲作業

令和2年7月19日（日）8時15分から11時まで実施しました。

水抜き・干し出しにより特定外来種を完全排除することは在来の生物などに与える影響が大きいことから、可能な限り千駄堀池の水位を減らした状態で捕獲を行いました。

捕獲した魚類等は、一時的に仮設水槽で保管し、専門家の同定により外来種（特定外来種を含む）と在来種（重要種を含む）を選別しました。また、外来種については専門家指導のもと種毎に適切な措置や処分を行いました。

#### （3）調査結果

調査を実施した結果、魚類 13種、その他の水生生物 9種（計 22種）が捕獲されました。このうち、特定外来生物に該当するカダヤシ、ブルーギル、オオクチバス、ウシガエルを含む 11種を処分しました。

**（考察）** 個体数としては、外来種 計726個体（30％）に対して在来種 計1,711個体（70％）と、在来種の割合が高い割合を占めました。一方で、種数は、在来種 計9種（41％）に対して外来種 計13種（59％）となり、外来種が在来種を上回りました。



#### (4) 今後の展開

今回の調査結果を松戸市都市公園整備活用推進委員会に報告するとともに、今後の外来生物対策などについてご審議いただきます。

また、市のホームページや掲示等により調査結果を公表し、本公園の自然環境について関心を深めていただくきっかけにいたします。

## 2. 園内に整備予定の遊び空間「あそびのすみか」におけるガバメントクラウドファンディングを活用した寄附募集

自然の魅力を知ってもらうためのきっかけをつくり、21世紀の森と広場に対する愛着を育てていくため、今後「森あそび・野良あそび・水辺あそび・広場あそび」を促進することとし、これらの遊びへの導入となるきっかけをつくるための「新たな遊び空間」を本公園の中に整備します。

#### (1) 整備計画

来場者の多い中央口および五本木口からの動線・視線が交差するエリアにシンボル性のある遊び空間を整備します。また、利用の多いバーベキュー場と光と風の広場をつなぐエリアにアクセスと遊びを兼ねた整備をします。

**【広場エリア】** 令和2年度整備実施 → 主に幼児から小学生まで対象遊具

※令和3年度夏、一部オープン予定

**【樹林地エリア】** 令和3年度整備実施予定 → 主に小学生から大人まで対象遊具

#### (2) 整備遊具概要

##### ① コンセプト

「あそびのすみか」人や生き物の生活や文化、歴史、環境（自然）を紡ぐ  
「住み家」「棲家」

##### ② 令和2年度整備（令和3年度夏ごろ、一部オープン予定）

縄文サークル



ジオマウンテン



昆虫のスミカ



#### (3) ガバメントクラウドファンディングの実施

##### ① 実施の目的

- ・篤志家、ガバメントクラウドファンディング（GCF）に興味を持っている方、当該プロジェクトに共感いただいた方などに、自然尊重型総合公園「21世紀



- の森と広場」を知ってもらうとともに、新規来場者の獲得につなげます。
- ・寄附により当該事業を応援していただくと共に、市外寄附者については、本市の特産品である記念品を通じて本市をPRします。

#### ②寄附目標金額

- ・目標金額 500万円

#### ③募金応募状況（令和2年10月28日17時時点）

- ・ふるさとチョイス：寄附者69人、募金額155万6,000円
- ・総務課窓口：寄附者18人、募金額48万8,000円

#### ④寄附者特典

- ・全寄附者を本遊具完成後のプレオープンイベント（令和3年夏頃）に招待
- ・3万円以上の寄附者で、返礼品を希望されない場合は、寄附者銘板に氏名を入れることができます
- ・市外在住の寄附者のみ、松戸市の全ふるさと納税記念品から返礼品を選択することができます。また、松戸市ふるさと応援大使であるキックボクシング界のカリスマ・那須川天心氏からガバメントクラウドファンディングプロジェクト限定記念品を提供していただいています



#### （4）寄附募集期間・寄付金の用途

令和2年9月15日～令和2年12月13日【90日間】

令和2年度21世紀の森と広場遊具等施設整備事業の一部に充当します。

### 3. 市民向けパネル展示

**期 間** 令和2年11月19日(木)～11月30日(月) 8時30分～17時  
※閉庁日を除く

**場 所** 松戸市役所1階連絡通路

**内 容** パネル展示と21世紀の森と広場各種パンフレット（1,000部）配布

#### ①池の外来生物の調査結果

全体説明パネル、生物の紹介パネル（22種類）

#### ②ガバメントクラウドファンディングを活用した寄附案内

遊び空間（遊具）の紹介パネル、全体図、詳細図

#### 【問い合わせ先】

街づくり部公園緑地課21世紀の森と広場管理事務所

☎047-345-8900



## 千駄堀池 外来生物調査 結果報告

### 1 実施概要

千駄堀池は、古き良き松戸の自然を残すために、1993年に谷戸田の跡地に作られた人工池です。今ではヒメガマなどの抽水植物群落が形成され、水辺を好む鳥類や昆虫が多数見られるようになりました。しかし、カダヤシやブルーギル、オオクチバスなどを始めとする様々な外来生物が侵入し、地域の自然が脅かされるとともに、水も汚れてしまいました。そこで、今後の外来生物対策を検討するため、池の水を抜いて生きもの調査を行いました。また、今回はテレビ東京系列の人気番組『緊急SOS！池の水ぜんぶ抜く大作戦』にもご協力いただき、松戸の貴重な自然や抱えている課題、保全の重要性について、全国に向け普及啓発を行うことができました。

実施日：令和2年7月19日(日)

松戸市 公園緑地課 21世紀の森と広場管理事務所



水を抜く前の千駄堀池



水を抜いた後の千駄堀池



面積が約5.0ha、深さ最大約1.0mの、平成5年に作られた人造池です。夏季の水抜きは生きものに負担がかかるため、今回は全ての水を抜かずに作業を行いました。

### 2 当日の様子



松戸市の職員計80名が池に入り、捕獲係・運搬係に分かれ作業を実施。



たも網を使って、小さな生きものも丁寧に捕獲。



水を入れた桶に魚を入れ速やかに運搬。



# 3 捕獲した生きもの

POINT

ヨシやガマなどの水草が、在来種のかくれがになっ  
ているようです。適度に水草を管理することが大切です。

## 在来種 元々この地域にいた生きもの

★マーク：千葉県の絶滅危惧種



★ モツゴ  
412 個体



★ ギンブナ  
111 個体



★ ヌマチチブ  
3 個体



ヨシノボリのなかま  
5 個体



★ ナマズ  
1 個体 ※人が持ち込んだ  
可能性もあります。



★ スジエビ  
870 個体



★ テナガエビ  
310 個体



★ モクズガニ  
2 個体



コオニヤンマのヤゴ  
1 個体

POINT

カメ類、オオクチバス、ブルーギル、コイは故意に放流された  
可能性が大。その他は放流か、川から入った可能性もあります。

◆マーク：特定外来生物



リバークーターの  
なかま  
4 個体



ミシシッピ  
アカミミガメ  
4 個体



クサガメ  
1 個体



◆ ウシガエル  
(幼生)  
19 個体



カワリヌマエビの  
なかま  
1 個体



◆ カダヤシ  
10 個体



◆ オオクチバス  
84 個体



カムルチー  
8 個体



◆ ブルーギル  
570 個体



コイ  
9 個体



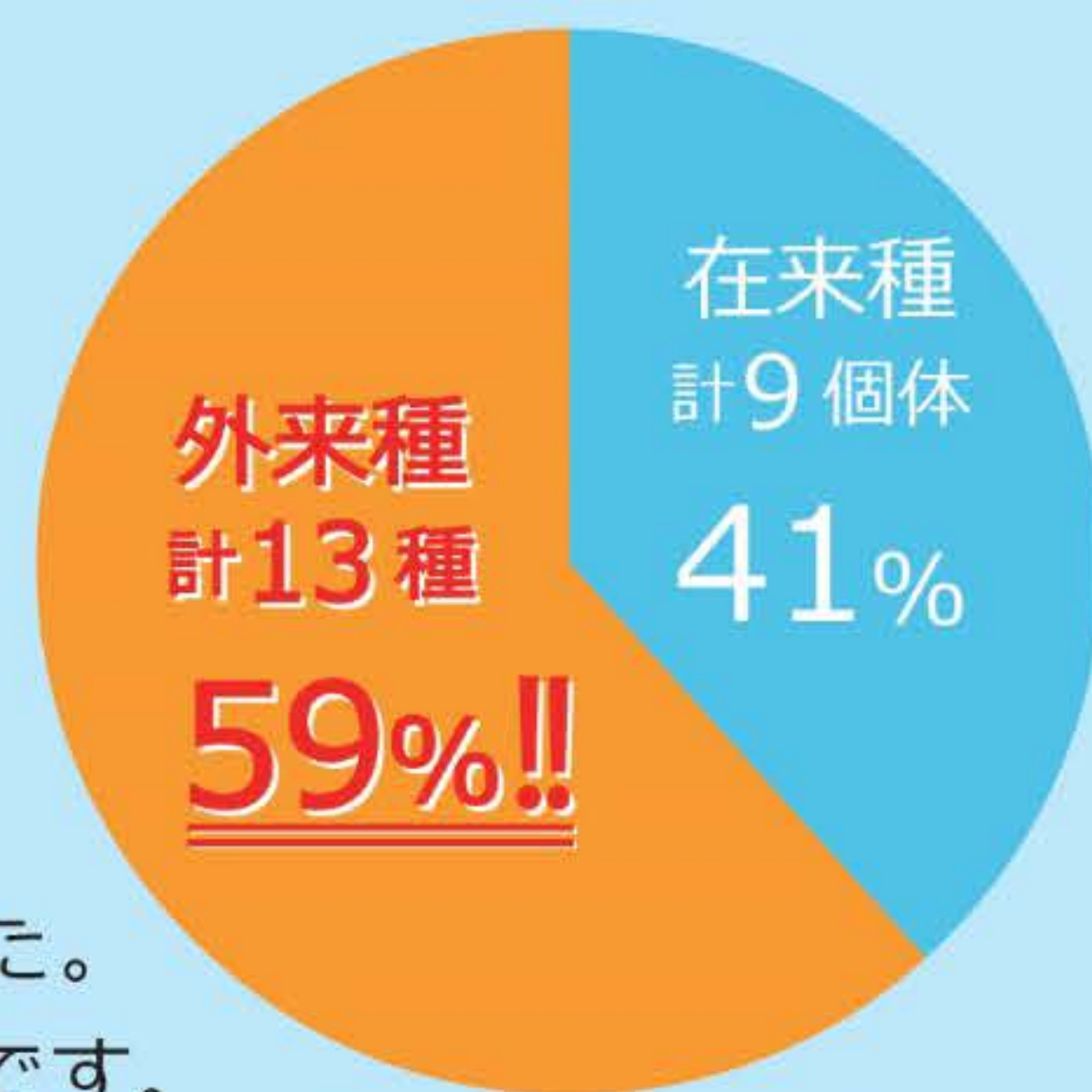
タイリク  
バラタナゴ  
3 個体



スゴモロコ※  
2 個体



ツチフキ※  
11 個体 ※スゴモロコ、ツチフキは国内外来生物



捕獲した在来種・外来種の  
種数比率

# 4 調査結果・考察

捕獲された外来種は 13 種で、種数は在来種の 1.5 倍でした。その内 4 種が特定外来生物であり、池の生態系は危機的な状況です。また、今回は完全に水を抜いておらず、池底の天日干しも行っていないため、外来魚類の根絶には至りませんでした。更に、カメ類やウシガエルのように天日干しでは駆除できない生物もいます。今後は①かいぼり ②天日干し ③陸に上られる外来種の捕獲を継続的に行う必要があります。そして「生きものを放さない・持ち込まない」というルールを多くの人に守ってもらうことも大切です。





# 千駄堀池の生きもの紹介

令和2年7月19日の外来生物調査で見つかった、千駄堀池の生きものをご紹介します！  
下は展示の見方と、希少性、侵略性の評価に関する説明です。  
水色が在来種、オレンジ色が外来種です。ごゆっくり、ご覧ください。

## 在来種

・希少性の評価



科名  
大きさ：〇cm

解説文



千駄堀池でのレア度

(★マークが多いほど希少で、保全対策が必要な種)

### 希少性の評価について

#### 【環境省レッドデータブック】

日本に生息又は生育する野生生物について、専門家で構成される検討会が、生物学的観点から個々の種の絶滅の危険度を科学的・客観的に評価し、その結果をリストにまとめたもの。

→今回の調査では、残念ながら該当する生物は見つかりませんでした。

#### 【千葉県レッドデータブック】

法的規制等の強制力を伴うものではないが、多くの方に貴重な野生生物の現状を理解し、自然との共生のあり方を考えてもらうことを目的に千葉県が保護上重要な野生生物をリストにまとめたもの。X,A,B,C,Dの5つのカテゴリーに分類されている。

X: 消息部名・絶滅生物 A: 最重要保護生物 B: 重要保護生物 C: 要保護生物 D: 一般保護生物

## 在来種

千葉県の絶滅危惧種  
(一般保護生物)



実寸大

# ギンブナ

コイ科  
全長：15～40cm

川や池沼を始め幅広い淡水域に生息し、全国的に広く分布している。千駄堀池でも数が多い。オスはほとんど存在せず、メスは他の魚の精子の刺激を利用して繁殖する（受精はしない）。そのため、生まれる子どもはメスのクローンとなる。



千駄堀池でのレア度

## 外来種

・侵略性の評価



科名  
大きさ：〇cm

解説文



千駄堀池での警戒レベル

(◎マークが多いほど、緊急対策が必要な種)

### 侵略性の評価について

#### 【特定外来生物】

農林水産業、人の生命・身体、生態系への被害を及ぼすもの、又は及ぼすおそれがあるものの中から、外来生物法に基づき指定された生物。輸入、飼育や運搬、野外に放すことが原則禁止されている。

#### 【生態系被害防止外来種】

特定外来生物被害防止法による規制の対象外であるが、日本国内で生態系や人、農林水産業に悪い影響を及ぼす恐れのある生物。今回は次の3つのランクの外来種が見つかった。

緊急対策外来種：すでに国内に定着し、生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあり、甚大な被害が予想される外来種。

重点対策外来種：すでに国内に定着し、生態系等への被害を及ぼしている又はそのおそれがあり、対策の緊急性が高い外来種。

定着予防外来種：国内に未定着だが、定着した場合に生態系等への被害のおそれがある外来種。

#### 【日本の侵略的外来種ワースト100】

日本生態学会が定めた、日本の外来種の中でも特に生態系や人間活動への影響が大きい生物。

#### 【世界の侵略的外来種ワースト100】

国際自然保護連合（IUCN）の種の保全委員会が定めた、本来の生育・生息地以外に侵入した外来種の中で、特に生態系や人間活動への影響が大きい生物。



## 在来種

千葉県の絶滅危惧種  
(一般保護生物)



実寸大

## 在来種



実寸大（成虫）  
約7.5～9.3cm

拡大

実寸大（ヤゴ）

# ヌマチチブ

ハゼ科  
全長：5～15cm

主に河川の中下流域に生息するハゼの仲間。雑食性で、主に藻などを食べる。顔の細かく白い斑点が特徴。気性が荒く、なわばりに入ってくる魚に容赦なく攻撃する。



千駄堀池でのレア度

# コオニヤンマのヤゴ

サナエトンボ科  
全長(ヤゴ):約3.5cm

樹林が近くにある川や池を利用する大型のトンボ。基本的に川に住むため、今回捕獲したヤゴは上流から流されてきたものと考えられる。ヤゴ（幼虫）は平たく枯れ葉のような姿で、2～4年間水中で過ごす。成虫は初夏～秋頃によく見られる。オニヤンマ（オニヤンマ科）に似るが科が異なり、こちらは胴体の割りに頭が小さく後足が非常に長い。



千駄堀池でのレア度



## 在来種

千葉県の特産種  
(一般保護生物)



拡大

実寸大

# スジエビ

テナガエビ科  
全長:3.5~5 cm

名前の通り、体にしま模様がある淡水のエビ。  
テナガエビの仲間だが、こちらは手が長くない。  
千駄堀池には非常に多くの個体数が生息しており、  
ヨシやガマなど池の中に見られる植物が安全な隠れ家  
になっていると思われる。



千駄堀池でのレア度

## 在来種

千葉県の特産種  
(一般保護生物)



実寸大

# テナガエビ

テナガエビ科  
全長:3~20 cm

名前の通り、手（第二胸脚）が長いエビ。  
長い手は、エサをつかんだり、他のテナガエビと  
ケンカ（縄張りから追い出すとき）をしたりするとき  
に使われる。千駄堀池には非常に多くの個体数が生息して  
おり、ヨシやガマなど池の中に見られる植物が安全な  
隠れ家になっていると思われる。



千駄堀池でのレア度

## 在来種

千葉県の特産種  
(一般保護生物)



拡大

実寸大

# モツゴ

コイ科  
全長:4~8 cm

川や池沼で見られ、千駄堀池では非常に個体数が多い。  
水質悪化にも強く、にごった池や水路でも生息する  
ことができる。カワセミを誘致するために意図的に  
放流されることもあり、場合によっては国内外来種  
として扱われることがある。千駄堀池のモツゴは元々  
この地域で命を繋いできたものと思われるが、他の  
地域から持ってきた個体が放流される  
と遺伝子攪乱に繋がるため注意が必要。



千駄堀池でのレア度

## 在来種



拡大

実寸大

※この写真は今回捕獲された  
個体（稚魚）の大きさです。

# ヨシノボリの仲間

ハゼ科  
全長:4~6 cm

流れの緩やかな河川、池沼などに生息する小型の  
ハゼの仲間。左右の腹ビレが一体化して吸盤状に  
なっているため、石などに張りつくことができる。  
藻や小さな生きものを食べる雑食性。  
オオクチバスやブルーギルの捕食被害にあっている  
ためか、千駄堀池では数が少なかった。



千駄堀池でのレア度



## 在来種

千葉県の特産魚種  
(重要保護生物)



実物の 3 分の 1 ほどの大きさ

## 在来種

千葉県の特産魚種  
(一般保護生物)



実寸大

# ナマズ

ナマズ科  
全長:約 60~70cm

川や田んぼ、池沼などに生息し、昔から食用としても親しまれた大型の淡水魚。動物食で、オオクチバスやブルーギル、アメリカザリガニなどの外来種も捕食する。そのため、外来種の増加を抑える効果が期待される。

※ナマズの本来分布は西日本であると言われており、東海地方以東は江戸時代以降に人為的に持ち込まれたとされている。しかし、東日本でも古くから生息していることから在来種として扱われることが多い。千葉県レッドリストでも重要保護生物として選定しているため、ここでも在来種とした。



千駄堀池でのレア度

# モクズガニ

イワガニ科  
甲羅の幅:約 8 cm

河口から川を上って池などで育ち、再び河口に戻って産卵する。今回本種が見つかったことで、千駄堀池が今も江戸川を通じて海と繋がり、生きものの往来が出来ているということがわかる。両腕の藻の役割は、  
①エサとなる小さな生きものをおびき寄せるため  
②異性へのアピール（大きいほどモテる）  
などの説がある。



千駄堀池でのレア度

## 国内外来種



拡大

実寸大

## 国内外来種



拡大

実寸大

# スゴモロコ

コイ科  
全長:9~12 cm

琵琶湖の固有亜種で、千葉県には本来生息していない。琵琶湖産のアユが利根川などに放流されたときに、スゴモロコも混ざっていたためそこに定着。その後水域を通じて千駄堀池にも入ってきたものと思われる。本来の生息地である琵琶湖では個体数が減少し、環境省のレッドデータブックでは『絶滅危惧Ⅱ類』に指定されている。雑食性で、水生昆虫や小型の巻貝などをよく食べる。



千駄堀池での警戒レベル

# ツチフキ

コイ科  
全長:4~10 cm

愛知県、岐阜県以西に生息し、千葉県には本来生息していない。環境省のレッドデータブックでは『絶滅危惧ⅠB類』に指定されており、本来の生息地では絶滅の危険性が高まっている。オスが泥底にすり鉢状の巣を作る際、口に泥をふくみエラから噴き出す様子から名付けられたとされている。



千駄堀池での警戒レベル



## 外来種

- ・特定外来生物
- ・世界の侵略的外来種ワースト100
- ・日本の侵略的外来種ワースト100
- ・生態系被害防止外来種  
(重点対策外来種)



成体  
実物は約18cm



実寸大 (オタマジャクシ)

## 外来種

- ・特定外来生物
- ・世界の侵略的外来種ワースト100
- ・日本の侵略的外来種ワースト100
- ・生態系被害防止外来種  
(重点対策外来種)



実物の半分程度の大きさ

# ウシガエル

アカガエル科  
全長(オタマジャクシ):約15cm

食用にアメリカから輸入された大型のカエル。池沼や川などに生息し、「ヴォ～、ヴォ～」と牛のような声で鳴く。口に入る大きさで動くものには積極的に襲い掛かり、在来のカエルや魚、時には野鳥なども捕食する。繁殖力も旺盛で、期間は5～9月と長く、1度に6千～4万個もの卵を産む。定着すると環境への被害が甚大となる。今回の捕獲数は少なかったが、水中にはまだたくさんのオタマジャクシが泳いでいた。



千駄堀池での警戒レベル

# オオクチバス

サンフィッシュ科  
全長:30～50cm

北アメリカ原産で、池沼、湖、川など様々な水域に生息している。主に釣り目的で違法に放流され、全都道府県に定着している。捕食性が強く、小魚やエビなどを食べ在来種を激減させてしまう。1回の産卵で5千～4万3千個もの卵を産むこともあり、1度放流されただけでも環境への被害が甚大となる。今回の調査では40cm超の大型から今年生まれの稚魚まで様々なサイズが捕獲され、繁殖していることが明らかとなった。



千駄堀池での警戒レベル

## 外来種

- ・特定外来生物
- ・世界の侵略的外来種ワースト100
- ・日本の侵略的外来種ワースト100
- ・生態系被害防止外来種  
(重点対策外来種)



実寸大

## 外来種



実物の4分の1ほどの大きさ

# カダヤシ

カダヤシ科  
全長:3～5cm

ボウフラを食べることから『蚊絶やし』と名付けられ、蚊の繁殖を防ぐためにアメリカなどから輸入された。姿はメダカに似ているが、メダカよりも環境汚染に強く、人工的な水路でも繁殖可能であるため急速に国内での分布を拡大している。食欲旺盛で、メダカやその他の在来魚の卵、稚魚、昆虫などを捕食する。



千駄堀池での警戒レベル

# カムルチー

タイワンドジョウ科  
全長:70～80cm

中国、朝鮮半島原産で、釣りの対象魚として人気がある大型の淡水魚。日本には朝鮮半島産のものが放流され、全国の池沼、川などで野生化したと考えられる。太い円筒状の体で、頭部がヘビに似ていることから別名『スネークヘッド』とも呼ばれる。在来の魚、昆虫、カエルなどが捕食され減少してしまう。今回の調査では8匹を捕獲しているが、まだ複数生息していると思われる。



千駄堀池での警戒レベル



## 外来種



## 外来種



## カワリヌマエビの仲間

ヌマエビ科  
全長:2 ~ 3 cm

中国、韓国原産で、観賞用や釣りの餌として輸入されたものが放され野生化したとされている。ヨーロッパやハワイなどにも定着していることから、環境的適応力が高いと考えられている。このエビと一緒に、ヒルミミズというエビにつく寄生虫も日本に侵入している。



千駄堀池での警戒レベル

## クサガメ

イシガメ科  
甲長:20 ~ 30 cm

朝鮮半島や中国から18世紀末ごろに持ち込まれ始め、その後もペット用に輸入されたものが捨てられるなどして全国に定着。体や甲羅は黒味が強く、若い個体は顔に黄色の模様がある。ニホンイシガメ(在来種)と交雑し、雑種が生まれてしまう可能性がある。ニホンイシガメは千駄堀池でも過去に確認されているため、注意が必要。



千駄堀池での警戒レベル

## 外来種

・世界の侵略的外来種  
ワースト100



実物の1/3程度の大きさ

## 外来種

・日本の侵略的外来種ワースト100  
・生態系被害防止外来種  
(重点対策外来種)



## コイ

コイ科  
全長:40 ~ 80 cm

日本在来のコイは琵琶湖など限られた地域にのみ現存し、その他の池沼や川で見られるコイは飼育や養殖、または海外から輸入された個体が放され野生化したもの。池底のドロを巻き上げながらエサを探すため水がにごり、貴重な水草も生育することができなくなる。雑食性で、エサとなる貝類も激減してしまう。



千駄堀池での警戒レベル

## タイリクバラタナゴ

コイ科タナゴ亜科  
全長:4 ~ 8 cm

中国、台湾原産で、食用目的に輸入した魚に紛れて非意図的に持ち込まれた。また観賞魚や釣りの対象魚としても人気がある。全国の池沼、川などに分布し、在来のタナゴの仲間を駆逐、または交雑するなどして地域の生態系を乱している。



千駄堀池での警戒レベル



## 外来種

- ・特定外来生物
- ・世界の侵略的外来種ワースト100
- ・日本の侵略的外来種ワースト100
- ・生態系被害防止外来種  
(緊急対策外来種)



実寸大

## ブルーギル

サンフィッシュ科  
全長:10 ~ 25 cm

北アメリカ原産で、釣り目的で放流されるなどして全国の池沼、湖、川など様々な水域に定着。雑食性で、水生昆虫や小魚、エビ、貝類、水草などを食べてしまう。1回の産卵で2万1千~3万6千個もの卵を産むこともあり、1度放流されただけでも環境への被害が甚大となる。千駄堀池にはまだ大量の稚魚が生息しており、早めに駆除(池の天日干しなど)を行わないと池の生態系が崩壊してしまう可能性がある。



千駄堀池での警戒レベル

## 外来種

- ・世界の侵略的外来種ワースト100
- ・日本の侵略的外来種ワースト100
- ・生態系被害防止外来種  
(緊急対策外来種)



実物の半分程度の大きさ

## ミシシッピ アカミミガメ

ヌマガメ科  
甲長:23 ~ 28 cm

北アメリカ原産で、1950年代からペット用に輸入され始めた。幼体は5cm程度でおとなしいが、成長するにつれ徐々に攻撃的になる。寿命は20~30年と長生きすることから、飼いきれなくなり捨てる人が続出し、全国の池沼、川などに大量に遺棄され定着した。水草を食べ、在来種が住みづらい環境にしてしまう。目の後ろの赤いラインや、顔、手足、尾に薄黄色の模様が特徴。



千駄堀池での警戒レベル

## 外来種

- ・生態系被害防止外来種  
(その他の定着予防外来種)



捕獲された個体の半分程度の大きさ

## リバークーター

ヌマガメ科  
甲長:詳細不明

原産は米国東部~南部~メキシコ北東部とされるが詳細は不明。安価なペット用のカメとして輸入され、遺棄されたものと思われる。ミシシッピアカミミガメに似るが、目の後ろに赤いラインは無く、爪が長い。またこちらの方が草食性が強く、水草を食べつくしてしまう危険がある。国内ではまだ繁殖例は確認されていないが、原産国の気候が日本と近いため、定着する可能性がある。



千駄堀池での警戒レベル

資料制作

特定非営利活動法人 NPO birth



# 令和3年度

## 2 1世紀の森と広場に遊具を設置します



【21世紀の森と広場遊具整備事業がはじまります】

子どもたちが自然への興味や関心を育み、公園の新たな魅力となるような大型遊具を含む「新たな遊び空間」を光と風の広場に整備します。

名称は地域のシンボルとなり愛着をもってもらうことを願い、

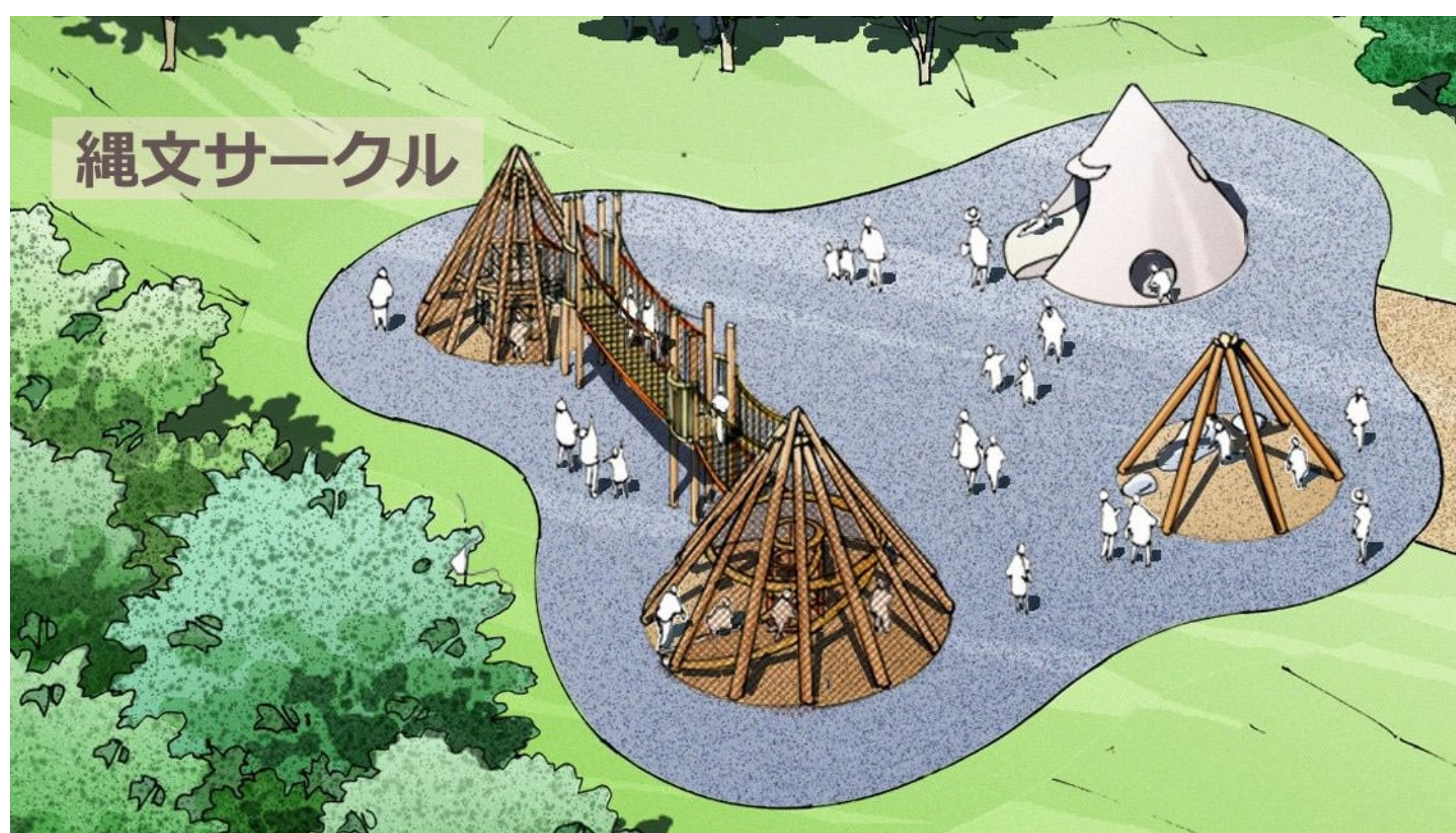
応募件数2,065件の中から「あそびのすみか」に決定しました。

### 令和3年夏 完成予定遊具



#### 【ジオマウンテン】

かつての生き物が眠る地層や、岩石の風化・浸食を想起させる砂山



#### 【縄文サークル】

竪穴式住居の形状をイメージした、ネットや吊り橋で遊ぶ複合遊具

円形に配置することで「縄文のムラ」の風景をつくる



#### 【昆虫のスミカ】

蟻塚や洞窟住居を思わせる自然の中に現れる山型の造形





# 千葉県松戸市 21世紀の森と広場に

新たな遊び空間を！

令和3年度に一部完成する遊具の  
ガバメントクラウドファンディング  
による寄附募集を開始しました

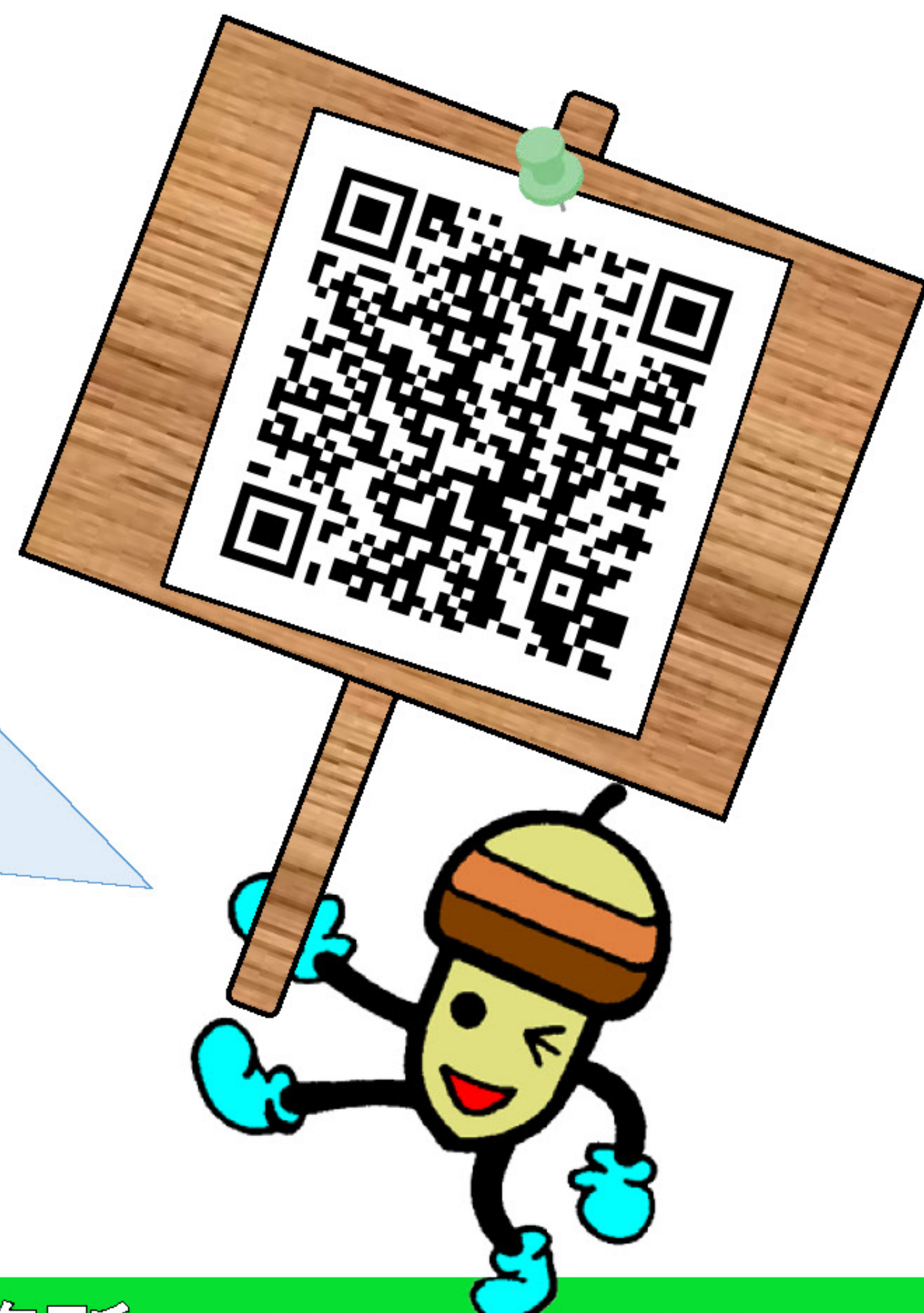
- プロジェクト名称  
【松戸市21世紀の森と広場】未来につなげる  
「新たな遊び空間」整備に支援を  
お願いします！

- 募集期間  
令和2年9月15日（火）から  
令和2年12月13日（日）まで

- 寄附目標金額  
500万円

- 寄附金の用途  
令和2年度21世紀の森と広場  
遊具等施設整備事業の一部に充当します。

詳しくは公園の  
ホームページを  
確認してね！  
QRコードで公園の  
ホームページが  
確認できます



松戸市公園緑地課21世紀の森と広場管理事務所 047-345-8900